

旧第 2 通学区の高校の学びのあり方について

意見・提案

2020 年（令和 2 年） 月 日

旧第 2 通学区の高校の将来像を考える協議会

## 目次

- 1 はじめに
- 2 「第1期長野県高等学校再編計画」における再編統合等の状況
- 3 旧第2通学区内の中学校卒業者の推計
- 4 旧第2通学区の特殊性
- 5 子どもたちの夢をかなえる学びの在り方について

### 【資料】

- ① 旧第2通学区の高校の将来像を考える協議会設置要綱
- ② 協議会検討経過
- ③ 協議会委員名簿

## 1 はじめに

- ・ 厳しい少子化の現状・将来予測を踏まえ、早い段階で地域説明会を開催し、厳しい少子化の現状を説明してきたこと
- ・ 各校同窓会関係者の方々からも様々な意見をお聞きしたこと
- ・ 総合学科高校、総合技術高校といった、地域にある新たな形態の学校を視察し学んだこと など

「旧第2通学区の高校の将来像を考える協議会」で議論を重ねてきた経過を記述。

県教育委員会には、意見・提案の趣旨を踏まえ、子どもたちのための高校改革を進めていただくことを願います。

## 2 「第1期長野県高等学校再編計画」における再編統合等の状況

旧第2通学区内では、2007年（平成19年）に中野高校と中野実業高校を統合し中野立志館高等学校が、2015年（平成27年）に須坂商業高等学校と須坂園芸高等学校を再編統合し須坂創成高等学校が開校したことを記述

## 3 旧第2通学区内の中学校卒業者の推計

県教育委員会の資料から、旧第2通学区内の中学校卒業者数が大きく減る見込みであることを記述

## 4 旧第2通学区の特殊性

地域内には、中山間地存立校がないこと（都市部存立普通校は再編基準が厳しいこと）、隣接する旧第3通学区内中学校からの入学者が多いこと、地域内に私立高校がないことを記述

## 5 子どもたちの夢をかなえる学びの在り方について

ある程度の人数があることが、子どもたちの刺激になり成長につながることから、都市部存立普通校の基準以上の高校を、今後も維持する必要があることを記述するとともに、①総合学科高校、②総合技術高校、③普通高校、④定時制高校、それぞれについて、地域として「こうあってほしい」という希望を記述。